



# もりっこ

第32号  
通信

## ＜理事長挨拶＞【新規事業：子育てわんパーク in MAESOU】

コロナ禍の様々な影響を鑑みて、新規事業を開始しました。地域で開催されていた子育て支援事業が軒並み中止、または規模が縮小され、乳幼児を育てるご家庭の出かける先が減少していること、コロナ禍もあり感染症対策に工夫が必要なることを考え、屋外型の「子育て支援事業」実施に向けて動いています。

財団法人前橋市まちづくり公社「前橋総合運動公園」様、社会福祉法人ぐんま福祉会「ひまわりこども園」様との協働で、運営面や備品等の資材提供など多くの支援を受けて開催することができています。

すでに2回開催しましたが、多くの反響をいただいています。今後も、子育て世帯と繋がり孤独な育児「孤育て」を少しでも減らせるよう、3者で連携しながら事業を実施していければと思います。そして、乳幼児期から自然の中で遊ぶ楽しさを感じ、大きくなって自然の中へ飛び出していけるキッカケにできれば嬉しいです。興味のある方は「あかぎの森のようちえん」ホームページ内のブログを参照ください。

理事長：櫛島隼人



## ＜活動報告＞

まん延防止等重点措置の影響を大きく受けて、主催・受託事業共に中止となることが多い4か月でした。多くの方にご迷惑をおかけしましたが、多くのご理解・ご協力をいただいた期間ともなりました。お力添えいただいた多くの方に感謝申し上げます。ありがとうございました。

### ◆12/25 (土) ターサ・エデュケーション クリスマス会



ひとり親家庭の支援をしている NPO 法人ターサ・エデュケーション様との協働でクリスマス会のお手伝いをしました。

子どもたちはクリスマスを満喫するべく、松ぼっくりなどの自然素材を使用してクリスマスクラフトを楽しみます。その間に、保護者の皆さんは支援員と子育てのことなどの悩み相談をしました。

この日は特別に、主に子どもたち向けの歌を歌っているシンガーソングライター「いわしピクニック」さんにもお越しいただき、子どもから大人まで楽しめるクリスマスソングなどを披露してもらいました。

県内でも「子ども食堂」など、子どもを取り

巻く課題を解決・改善すべく活動する団体が増えて来ました。「あかぎの森のようちえん」もいち NPO 団体として、社会課題を敏感に捉えて、体験活動を通してできることを続けていこうと思います。参加者それぞれの笑顔や小さい子どもへの気配りが見られて、とても充実した時間になったと感じています。(めで鳥)



### ◆3/18 (金) 障害者福祉サービス事業所 レク活動支援

知的障害を持ちながら働く人たちの支援する福祉サービス事業所の所長さんからご依頼をいただき、自然の中を散策したり、たき火を楽しんだりするレクリエーションのプログラムを提供してきました。

障害を抱えながらも、普段は農作業などに従事している利用者さんたちです。長時間の労働にも挑戦しているため、リフレッシュなどを目的として、年に数回レクリエーション活動を行っているそうです。今回は利用者さんたちが内容を考えて、ハイキングを楽しみたいと計画し、依頼に繋がりました。



楽しみにしていた1日でしたが、会場に到着した時には春の雪が降る極寒の中でした。でも、そんなことはお構いなしです。仲の良い皆さんは、悪天候なんて関係なしにゲームやたき火、ハイキングを楽しんでくれました。自然の中に繰り出すことでストレス発散にもなり、日々の仕事を前向きに取り組むキッカケになると思います。皆さんののんびり過ごし、明るい表情を見せてくださって嬉しく思いました。

ぜひまた、遊びに出かけてください。

(めで鳥)

## <自然遊びプログラム>

前橋市内にあるこども園に、月に1度お邪魔して自然遊びのプログラムを提供しています。

春には花や芽、虫を探するため近隣にお散歩へ、夏にはプールで遊べる玩具作り、秋には木の実などを使った遊びや工作など、それぞれの時期に合った遊びを提供してきました。

冬季は伝統的な行事も多く、何のために行ってきたことなのかを踏まえて活動のお手伝いをしてきました。



12月には、ホールの中でお餅つきを行いました。いつ行ったら良いのか、どんな意味があるのかを伝えながら、年少さん以上の子どもたちが全員で交代しながらもちをついていきます。年長さんの姿を年下の子どもたちが、良く見ていました。来年は自分たちが行事を引っ張っていくということ、何となく感じているようでした。

1月にはどんど焼きを行います。正月飾りなどを拾い集めて来た木の枝で組んだ「やぐら」へ乗せワラなどに火をつけて燃やしました。12月のもちつき時に作っておいた「繭玉」も焼いて、お汁粉にいただきました。

日本で行われていた伝統行事には様々なものがありますが、どれも意味を持っています。何のために行われてきたのか、ということも含め、子どもたちに伝える機会を設けていきたいと感じました。(めで島)



## <書籍のご紹介>

「あかぎの森のようちえん」のメンバーでもあり、ボランティアスタッフでもある中嶋さん(よんぺー)が、書籍を発行しました。「むしはどこだ!？」シリーズ2冊です。

自然の中や人工物に隠れている生き物の写真がたくさん掲載されています。この本を読み、虫を探る練習をしてから森や自然の中へ出かけると、たくさん生き物が見つかるかも?

Amazonのサイトで検索していただくと、見つかります。ぜひお手に取ってみてください。



### ①プログラム提供事業

【幼稚園・保育園を対象とした事業】

◆森のようちえん・森のほいくえん  
幼稚園・保育園を対象にしたプログラムを提供  
12月~3月 4件 ボランティア: 10人  
園児 91人 先生 17人 計 108人

②指導者派遣(12月~3月) 8件

【関係団体の研修会、イベントなどへの派遣】  
学童指導員の会、前橋総合運動公園  
保育士等キャリアアップ研修、等

### ③主催事業(7件)

- ・子育てわんパーク in MAESOU (新規事業)  
①2/16(水) 13組 29人  
②3/ 9(水) 11組 24人 計 24組 53人
- ・親子の森のようちえん(年少~年長の子どもとその親)  
⑦2/23(水祝) 10組 24人  
⑧3/27(日) 12組 28人 計 22組 52人
- ・もりっこ(年長~小2の子ども)  
⑦12/5(日) 22人 ⑧2/11(金祝) 16人  
⑨3/21(月祝) 19人 計 57人

参加者総数 162人 ボランティアスタッフ 延べ 35人

あかぎの森のようちえんでは、法人の方針でもある『自然を使って身近な社会の課題を解決し合える社会をつくります』の趣旨に賛同して下さる方々からの寄付を募集しております。支援の方法は2つあります。

①活動全般へ寄付をする ②賛助会員になる ~ 詳細は、事務局までお問合せください。担当: 櫛島

## <活動へご協力いただいています!>

「静和幼稚園」小林園長先生:「せいわぼうけん山」をお貸しいただいています。

「津久井不動産」津久井社長:会場近くの敷地を駐車場として開放して下さっています。

多大なご支援をいただき活動が成り立っています。いつもお力添えいただき、ありがとうございます。

## 【ボランティア大募集!】

あかぎの森のようちえんでは、森の中で子どもたちと遊んでくれるボランティアさんを大募集しています。平日、週末と活動しております。興味がある方は事務局までご連絡ください。主な内容は、子どもたちと一緒に遊び、子どもたちの安全を保つことです。関わる上で大切な「あかぎの森のようちえん」の活動の主旨などもご説明いたします。担当までご連絡ください。Mail: info@akagi-moriyou.com 担当: 櫛島(めでじま)

特定非営利活動法人あかぎの森のようちえん  
理事長 櫛島 隼人(めでじま はやと)  
090-9006-8711 info@akagi-moriyou.com  
〒379-2206 伊勢崎市香林町1丁目90-3  
<ホームページ> <https://akagi-moriyou.com>  
~~~~【あかぎの森】で検索!~~~~



Facebook



instagram



LINE@



Web

様々な媒体で情報発信しています。ご覧ください!